



2024. 6. 1 No.189号

社会福祉法人下松市社会福祉協議会
〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号
下松福祉センター内

TEL 41-2242 FAX 41-2330
<https://www.kudamatsu-syakyo.or.jp>



えがお あふれる いこいの場

もくじ (主な内容)

令和6年度事業計画と予算	2, 3P
赤十字報告	4P
善意の花束	5P
地区社協リレー	6, 7P
掲示板	8P

下松市児童センターでは子育て親子の交流の場として、子育て支援事業を実施しています。

また、6月からは毎週木曜日（年末年始、盆休み、祝日を除く）9時30分から14時30分まで、久保公民館でも、出張ひろばとして実施します。

センターと出張ひろばでは、子育てに関する相談や地域の情報のご案内も行っていますので、はじめての方もお気軽に遊びに来てください。



令和6年度

下松市社会福祉協議会 事業計画と予算

事業方針

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、さまざまな制約が解除され、経済・社会活動は急速に回復しつつある中、地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化、家族機能の変化や価値観の多様化などを背景に、地域における支え合いの機能が弱体化しつつあります。

こうした地域社会の変容と地域住民の複合化した支援ニーズに対応するためには、地域生活課題を把握し、解決していくことができる包括的な支援体制づくりが求められています。そのため、専門職による多職種連携や地域住民、ボランティア等が「我が事」として主

体的に参画し、協働による地域づくりが必要とされています。

このような情勢の中、下松市社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、住民主体の理念に基づき、幅広い関係機関・団体・施設等との連携により、誰もが役割を持ち活躍できる「地域共生社会（ともに生きる豊かな地域社会）」の実現をめざします。

社協事業への積極的なご参加と温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

重点事業

- 住民の参加と協働による地域づくりを通じた地域共生社会の推進
- 地域住民や関係団体との連携による見守りと支えあい体制の構築
- 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制づくりの強化
- その人らしい生き方・生活を尊重した在宅福祉サービスの実施
- 組織体制、財政基盤強化への取り組み



主な事業

1 社協経営の基盤強化

- ①理事会・評議員会の開催
- ②経営の透明性及び情報の公開
- ③福祉関係機関・団体・施設等との連携強化
- ④地域における公益的活動の推進
- ⑤福祉人材の確保及び育成
- ⑥BCP(事業継続計画)の策定及び運用

2 地域福祉活動の推進

- ①第3次下松市地域福祉活動計画の推進
- ②地区社協の育成・活動支援
- ③福祉員活動の推進
- ④ふれあい・いきいきサロンの推進
- ⑤ふれあい食事サービスの実施
- ⑥敬老行事の実施と援助
- ⑦地域活動組織支援事業の実施
- ⑧生活支援体制整備事業の実施
- ⑨施設等との協働事業の企画・検討

3 ボランティア活動・福祉教育の推進

- ①ボランティアの育成及び活動支援
- ②ジュニアボランティアの養成
- ③小・中学校等における福祉教育の支援協力

4 在宅福祉サービス事業の促進

- ①産前・産後サポーター派遣事業の実施
- ②子育て世帯訪問支援事業の実施
- ③助け合いサービス事業の実施
- ④知的障がい児(者)の余暇活動の促進
- ⑤介護用具等の貸し出し

5 居宅介護事業の充実

- ①訪問介護事業の実施
- ②障害福祉サービス事業の実施



6 総合相談支援事業の実施

- ①総合相談事業の実施
- ②日常生活自立支援事業の推進
- ③法人成年後見支援事業の実施
- ④生活困窮者自立支援事業の実施

7 広報・啓発活動の充実

- ①社協だよりの発行（年4回）
- ②愛のバザーの開催
- ③下松市社会福祉振興大会の開催
- ④ソーシャルメディア（LINE等）を活用した情報の発信

拠点区分・サービス区分事業名	予算額(千円)
地域福祉推進事業拠点	221,284
法人運営事業	104,072
広報啓発事業	3,125
ボランティア等推進事業	1,118
福祉の輪づくり事業	762
地区社協育成事業	2,670
高齢者福祉支援事業	1,431
健康体力づくり事業	804
日常生活自立支援事業	8,552
成年後見支援事業	240
総合相談事業	470
地域活動組織支援事業	527
生活困窮者自立支援事業	19,049
介護支援ボランティアポイント制度事業	420
生活支援体制整備事業	9,393
認知症高齢者見守り事業	20
ふれあいいきいきサロン支援交付金事業	1,000
敬老事業	10,080
福祉号運行事業	1,672
助け合いサービス事業	822
活動助成・援護事業	2,010
共同募金配分金事業	7,470
子育て支援センター事業	11,473
老人福祉会館運営事業	15,826
福祉センター運営事業	4,617
資金貸付事業	6,950
善意銀行運営事業	5,600
事業資金積立金運営事業	1,096
基金運営事業	15
介護保険・障害福祉サービス事業拠点	21,978
訪問介護事業	14,621
居宅介護事業	4,547
地域生活支援事業	2,668
産前産後サポーター派遣事業	65
子育て世帯訪問支援事業	77
支出合計	243,262

8 福祉資金等の貸付

- ①各種福祉資金の貸付（窓口）業務
- ②援護資金等の貸付・償還業務

9 援護活動の推進

- ①社会福祉施設の支援
- ②福祉団体の育成・援助
- ③ひとり親世帯等への援助
- ④災害家庭への緊急援護

10 共同募金等への協力

- ①共同募金運動の展開
- ②赤十字事業の推進
- ③献血運動の推進
- ④「小さな親切」運動の展開

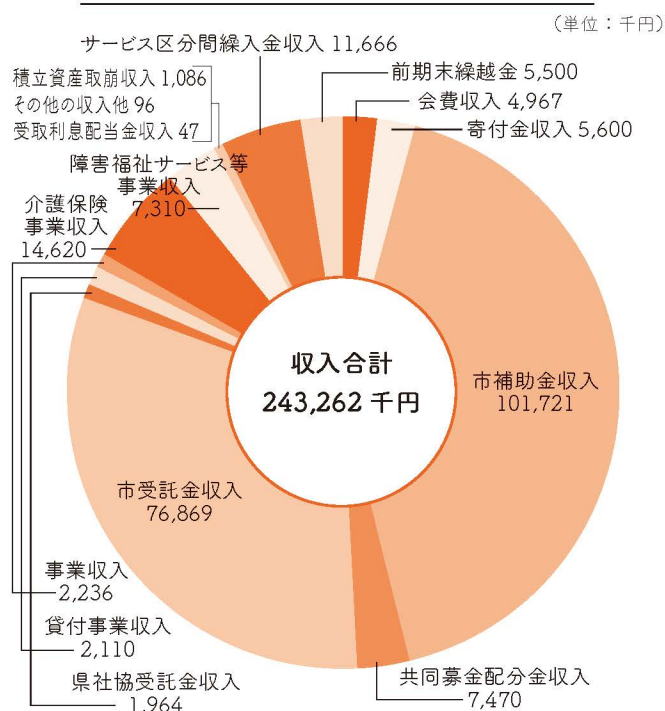
11 子育て支援センター事業の実施

- ①子育てに関する相談
- ②未就園児及び保護者相互の交流
- ③子育て支援事業「出張ひろば」の開催

12 福祉施設の経営等

- ①老人福祉会館「玉鶴」の運営
- ②福祉センターの運営

予算総額 243,262 千円



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社は、国内外で発生した災害や紛争などに対して、いち早く医療救護を行うための救護班の派遣や救援物資を被災地に届けています。近年頻発している自然災害に対して適応に向けた取り組みや啓発を推進し、気候変動に対する取り組みを強化しています。

これら全ての活動は無償で行い、その財源は、独立性を保つため国や県・市町からの補助金は受けず、皆様からの寄付金で支えられています。

災害時の救護活動を迅速かつ確に継続するために、今年度も赤十字の活動資金にご協力をお願いいたします。



【令和6年度下松市地区活動資金目標額】 (単位：千円)

一般	法人	合計
7,106	950	8,056

【令和5年度下松市地区活動資金実績額】

一般		法人		合計		
目標額(千)	実績額(円)	目標額(千)	実績額(円)	目標額(千)	実績額(円)	達成率(%)
7,297	7,274,197	747	752,000	8,044	8,026,197	99

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

市民の皆様からお寄せいただきました活動資金は、日本赤十字社山口県支部へ全額送金し、実績額の一部は下松市地区に交付され、災害支援やJRC加盟校（高等学校、中学校、小学校）への育成活動費などの資金に活用しています。温かいご支援、ご協力ありがとうございました。

地域で取り組む 助け合いのまちづくり



3月4日、ほしらんどくだまつで「協議体委員研修会」を開催しました。

九州大学大学院教授の高野和良先生から「これからの地域福祉活動と地域社会」についての講演後、「地域の居場所づくり」や「有償助け合いサービス」について豊井地区と末武地区の生活支援コーディネーターから報告がありました。

各地区の協議体委員を中心に参加された60名の方からは「他地区の良い部分や真似できるところを活かしながら反映することが必要だと感じた」「地域のユニークかつ熱心な取り組み状況が紹介され大変参考になった」といった声が聞かれ、これからの協議体活動の活性化につながる研修会となりました。



※「協議体」は、地域で福祉活動に取り組んでいる皆さんが「定期的な情報共有や意見交換」を行いながら、「近所の助け合いの仕組み作り」を進めていけるように、概ね公民館区に9か所設置されています。

災害時に備えて



2月26日、ほしらんどくだまつサルビアホールで、ICTを活用したより円滑で効果的な災害ボランティアと災害ボランティアセンターの設置・運営に関する基礎的な知識を学ぶことを目的に、「周南3市災害ボランティア養成講座」を開催しました。

3市から69名が参加し、災害ボランティアと災害ボランティアセンターについての説明や令和5年度大雨災害における実践報告、アプリを使った受付体験を行いました。

災害時の連携とは？迅速な対応とは？といったことを3市の参加者、スタッフで共有でき、貴重な機会となりました。



善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に届明けその他の厚志を含めてたくさんの善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。なお、氏名・金額はご了承いただいた方のみ掲載しています。(順不同)

令和5年12月21日～令和6年4月30日受付分

香典返し

< 桜 町 >

棟居 正樹 様 100,000 円
(御内室) 千絵里 様

< 末武上 >

松村 武寿 様 150,000 円
(御内室) 弘子 様

一般寄付

末武地区ふれあい新春のつどい 様
5,700 円
累計 184,922 円

山田後浴六部様世話人御一同 様

100,000 円

たんぽぽの会 様 5,000 円
累計 220,000 円

< 河 内 >

匿名 様 200,000 円

< 周南市 >

木村 茂 様 10,000 円

累計 120,000 円

交通遺児基金

株式会社北斗工事 様 27,626 円

累計 357,548 円

物品寄付

< 生野屋 >

海野 康志郎 様
優勝記念 車いす 1 台

累計 6 台

株式会社マルハン下松店 様 お菓子

リングプル 17 件

使用済切手 12 件

善意銀行は、市民の皆様からこころのこもった金銭や物品をお預かりし、その善意を社会福祉等に役立てようとするものです。
善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

「小さな親切」運動 下松支部

善行者を推薦しよう

あなたが見た、受けた、親切さん（個人・企業・グループ）を推薦してください。年齢制限はありません。大人でも、子どもでも推薦いただけます。実行章推薦用紙に記入して、下松支部までお知らせください。実行章を伝達し、その善行を皆様とともに称えます。

実行章推薦用紙は、ホームページから様式をダウンロードできます。

推薦先

〒744-0078
下松市西市二丁目 10 番 16 号
下松市社会福祉協議会内
「小さな親切」運動下松支部
Tel 41-2242



下松点訳・音訳友の会

会 員 募 集

視覚に障がいのある方や、文字を読むことに不自由を感じている方のサポートをしているボランティアグループです。

私たちといっしょに活動しませんか？

点訳部

本や依頼された資料を点字にしています。

活動日：毎週水曜日 10 時～12 時

音訳部

本の録音や市の広報などを録音して CD にしたりしています。

活動日：毎週火曜日 9 時～13 時

拡大・マルチメディア部

文字や絵を拡大して拡大本を作ったり、本をパソコンで読み上げできるようにしています。

活動日：水曜（不定期）10 時～12 時

活動場所

下松市地域交流センター 下松市生野屋南 1 丁目 11-1

お問い合わせ

下松市社会福祉協議会 Tel 41-2242

☆詳しくは「下松点訳・音訳友の会」

HP をご覧ください。



地区社会福祉協議会 (地区社協)とは

住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための住民組織です。地区住民や自治会、民生委員などから選出された代表者によって構成され、私たちの生活上の問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めて行く活動をしています。

下松市内には 15 地区の地区社会福祉協議会が地域特性に応じた地域福祉活動を展開しています。

今号から毎回、市内の地区社協の活動を紹介していきますので、活動の参考にしてください。



末武地区社会福祉協議会

会長：国重 文男 設立：昭和 32 年 4 月 22 日



国重会長

末武地区は、私が生まれ育ったのどかな田舎町でしたが、今や宅地造成が進み、一戸建てやマンションなど建設されています。また、大型店舗や商業施設が建ち並び下松一の商業地域に変わりつつあります。人口も 12,800 人と年々増加しています。地域の高齢化率は約 23% の状況になっています。

この様な中で末武地区社会福祉協議会では、「誰もが安心して心豊かに暮らすことができる福祉のまちづくり」と、「みんなで支え合い助け合うまちづくり」を活動方針として、企画総務部会、地域福祉部会、給食部会、福祉の輪づくり部会の 4 部会に分け、機関誌の発行、世代間交流事業などでウォークラリー大会、サロンへの参加及び独居老人への配食サービス等行っています。

また、公民館行事への参加として、小学校、中学校、高等学校など積極的に協力していただき、若い世代へのボランティア活動など幅広く対応して行きたいと思います。

そして、民生委員、福祉員、自治会、老人クラブ等の各団体の協力のもと、幅広い福祉活動を展開しています。





久保地区福祉協議会



会長：弘中 靖善 設立：昭和 32 年 4 月 22 日



弘中会長

市内北東部に位置する久保地区は自然豊かで元々農業を生業とする人々が中心でしたが、近年では宅地造成が進み、市内外に勤務される人々が増え発展してきました。

しかしながら、若年層の転出等により、人口減少と高齢化が大きな課題となっており、これらの課題解決が求められています。

久保地区福祉協議会では、コロナ禍の3年間で活動に制限はありましたが、「明るく、安全安心な住み良いまちづくり」を目指して活動を進めてきました。

主な活動としては、

- 地域福祉活動
- 快適環境づくり推進活動
- 地域ふれあい促進活動
- 安全で安心な地域づくり活動 などです。

77 歳以上の独居高齢者を対象とした弁当の配食サービスでは、民生委員・福祉員・調理ボランティアなどの団体にも協力をいただきながら地域福祉の向上を図っています。



**社協会費に
ご協力
お願いします**

社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられ、市民の皆様を会員として構成された民間の社会福祉団体です。

市民の皆様が会員になり、自分たちの問題として地域の福祉課題への関心を高め、福祉活動へ参画し、地域福祉を進める主体となっていていただくことで、地域の支え合いが実現できます。

会員の皆様からお寄せいただいた会費は、地域福祉活動を支える貴重な財源として、地区社協や福祉員の活動支援等に活用されています。

社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、会費のご協力をお願いいたします。



親切会中国支部の支援活動

株式会社日立製作所と関連会社の従業員で構成する奉仕団体「親切会中国支部」から、児童発達支援、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業に、取り組まれている「周南子ども発達相談センター」へ活動の一助として見舞金が贈られました。

対面での贈呈式が中止となったため、リモートにて各団体を繋げ、見舞金の使い道や各団体の活動内容等の紹介を行いました。



掲 示 板

下松市社会福祉協議会公式 SNS を始めました

お知らせや行事案内、災害ボランティア募集などの情報を発信していきます。
積極的に友達追加、フォローをお願いします。

1 公式 LINE



<https://page.line.me/kudasya>



← QR コードをスマホの
カメラで読み取って「追加」
してください。

2 facebook



<https://facebook.com/kudasya>



← フォローしてください。

ご不明な点はこちらにご連絡ください。

✉ anatanoegao@kudamatu-syakyo.or.jp TEL 0833-41-2242

下松市社会福祉協議会 職員募集

職種・採用予定人員

一般事務 若干名

受験資格

次のいずれにも該当する者

- 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く。)を卒業した者
- 社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事のいずれかの資格を有する者
- 普通自動車運転免許(AT限定可) 所持者

採用予定日

令和 6 年 10 月 1 日

第 1 次試験

令和 6 年 7 月 21 日(日)

受付期間

令和 6 年 5 月 20 日(月)～7 月 5 日(金)

試験案内・申込書の配布場所

下松福祉センター(下松市西市二丁目10番16号)

1 階受付及び郵送による請求

※下松市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。

※試験内容などの詳細については、必ず受験案内で確認してください。



申し込み先及び問い合わせ先

〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号

下松市社会福祉協議会 総務係 TEL 0833-41-2242